

# 議会運営委員会 行政視察報告書

- 1 日 時 令和元年8月7日(水)
- 2 視 察 先 芽室町議会
- 3 項 目 ① 議会ICTの推進  
② 議会モニター制度
- 4 経 緯 議会運営委員会では、平成29年10月に行った鎌倉市議会と町田市議会の先進的な事例を学ぶ行政視察を踏まえ、議会改革の課題である議会ICTを推進するため、専門部会を設置し検討を進めてきました。その結果として、昨年度には一般質問のインターネット中継および常任委員会の公開に向けた委員会室のマイクシステムの更新を終えたところです。
- 今年度については、残された課題である議会資料の電子化及び議会モニター制度の実施について、議会改革度調査5年連続全国1位の芽室町議会の取組みを調査することとなりました。
- 3 目 的 タブレットの導入で資料を電子化することによって、どのような活用ができるのか、また、それによってどういった効果を得ることができたのか。さらに、市民からの検証を得る手段としてのモニター制度の課題を探ることを目的として視察を実施。
- 4 派遣議員 横田美樹、小沼清美、海東剛哲、芳賀博康、燕昌克、  
珍田亮子、戸水美保子、小野敏雄、笠原昌史、鵜城雪子、  
村上均、村山ゆかり

## 5 報告内容

### 【タブレット導入による効果及び課題】

効果としては、

- 1) 大量の紙を持ち運ぶことなく、タブレット一枚に資料集約し、住民の問い

合わせに即座に対応できることから、行政と住民との橋渡しがスムーズにできるようになった。

- 2) クラウドサービスを活用することにより、他市の状況など必要な情報が得られるようになり、議員の政策立案に大きく貢献している。
- 3) SNSやグループウェア等の活用により、情報の受発信が向上した。
- 4) 災害時における被災状況等を瞬時に共有できるようになった。

課題としては、

- 1) タブレット使用の基準を作らなければならない。
- 2) 予算審査や決算審査については、紙と併用している議員が多かった。

### 【議会モニター制度導入による効果及び課題】

効果としては、

- 1) 議員の意識及び住民の反応が変わってきた。
- 2) 住民からの要望、提言など広く意見を聴取し、政策提案機能を強化できる。
- 3) 議会モニターを通して議員になった人が2名おり、議員のなり手不足の解消につながっている。

課題としては、

- 1) 議会モニター制度を始めるためには、全会議のインターネット中継の配信、資料や会議記録を公開することによって議員と住民とが同じ情報を共有できるようにすること。

### 【まとめ】

議会ICT導入に向けた議論は、毎年行われる議会基本条例の検証から、重点的に進めていく内容として、平成29年10月から約2年間にわたり行ってきました。今回の視察で、タブレットの活用には考えていた以上の効果があることが分かり、今回参加した議員からも早期に導入すべきという意見を多くいただいております。

このことから、議会運営委員会としては、タブレット導入が開かれた議会の実現に向けた「情報公開」と「市民参加」の機会を拡充するために必要であると結論付け、年度内の整備を望むものであります。

また、議会モニター制度については、引き続き調査研究する必要があると考えます。